



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ダイオーズ  
 コード番号 4653 URL <http://www.daiohs.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大久保 真一  
 (氏名) 丹治 勝秋

TEL 03-3438-5511

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,568	△1.5	237	△0.9	246	△7.9	133	△9.3
23年3月期第1四半期	3,624	△5.7	239	8.9	267	15.3	146	36.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 52百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	9.92	—
23年3月期第1四半期	10.93	10.93

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	8,441	6,813	80.7	507.68
23年3月期	8,461	6,961	82.3	518.77

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,813百万円 23年3月期 6,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,922	△2.8	353	△17.8	359	△21.5	214	△17.8	15.98
通期	14,220	0.9	958	11.9	975	10.9	537	53.0	40.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	13,439,142 株	23年3月期	13,439,142 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	19,152 株	23年3月期	19,152 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	13,419,990 株	23年3月期1Q	13,420,068 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間において当社グループは、以下のような施策を実行しました。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### ①国内部門

##### A. 組織

国内事業部門を受け持つダイオーズサービシーズの当第1四半期における組織は、中期目標である事業単位での営業体制の確立を目的に、従前のエリア単位を重視した5営業本部体制から、4営業本部体制に再編し、開発生産本部、管理本部を加えた6本部と「経営企画室」を加えた7部門体制で臨みました。営業本部の再編目的は、異なる事業の一括管理システムによって複雑化されたオペレーションを見直し、シンプル化を図る事で経営効率の最大化を図る事にあります。また、今期の課題であります、サービス業の原点とも言える「年中無休の365日営業体制」の確立については「経営企画室」が中心となり準備を進め、東京23区においては第2四半期半ばにはスタートできる見込みとなりました。これにより顧客ニーズに対する迅速性を高め、更なる「顧客満足度」向上に努めてまいります。

##### B. 営業

新規顧客の開拓については、従来の営業体制を見直し、管轄する支店内に扱う商品毎の専門セールsteamを配置し、顧客の求める価値に対してスピーディーに対応できる体制を整えました。専門性を高めた事による早速の効果としては、当期に実施した「拡販キャンペーン」において「飲料部門」、「環境部門」共に目標数値を上回る成果を収める事ができました。又、東日本大震災で被災した東北3店の立ち上がりが予想以上に早く、その他の拠点についても堅調な営業成果を収める事ができ、取扱商品の中では特に「水の需要の高まり」から契約顧客数が順調に増加しており、既存顧客の消費量も前年同期と比較して増加しております。

#### ②米国部門

##### A. 組織

当第1四半期では、前期に引き続き可能な限り人員を増やさずに生産性を高めるための各政策を実施しております。このため、特に大きな組織変更は行っておりません。

##### B. 営業

2007年後半より米国の景気は停滞期に入っていましたが、昨年より景気が底打ちをした状態となり、弱含みながらも緩やかな回復傾向にあります。当社におきましては、特に進出してまだ数年のテキサスやコロラドなど成長過程にある拠点などで販売数量が堅調に増加しております。その一方、商品相場高騰の影響で当社の主力商品であるコーヒーの原価も非常に大きく上昇しております。しかしながら、現時点では原価上昇分は販売価格に転嫁できております。結果として、当第1四半期の総売上高は前年同期比108.6%(ドルベース)となりましたが、売上原価も上昇しているため、売上総利益としては前年同期比105.8%(ドルベース)となっております。

一方で、経費面では拠点毎に利益を最大化できる「あるべき売上規模」を設定し、その規模に到達するように売上管理をする「モデル経営」を戦略的に導入いたしました。その結果、対前年比で売上や売上総利益は上昇した一方で、人件費総額は前年同期比96.2%(ドルベース)と逆に減少をしており、経営の効率化に向けて順調な改善が進んでおります。

その結果、営業利益としては前年同期比363.3%(ドルベース)と大幅増加し、増収増益路線に復帰いたしました。

これらの結果、ドルベースでは前年同期比を上回ったものの、円高の影響により、当第1四半期連結累計期間の売上高は35億68百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

売上総利益は20億68百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益は2億37百万円(前年同期比0.9%減)、経常利益は2億46百万円(前年同期比7.9%減)、四半期純利益は1億33百万円(前年同期比9.3%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて19百万円減少の84億41百万円となりました。主な要因は、「現金及び預金」が1億17百万円、「商品及び製品」49百万円、「建物及び構築物」が44百万円、「機械装置及び運搬具」が42百万円増加した一方、「のれん」が1億19百万円、「建設仮勘定」が1億8百万円、「繰延税金資産」(流動資産)が41百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて1億28百万円増加の16億28百万円となりました。主な要因としては、「短期借入金」が98百万円が増加した一方、「賞与引当金」が44百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億48百万円減少の68億13百万円となりました。主な要因としては、「為替換算調整勘定」が80百万円、「利益剰余金」が68百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成23年5月13日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,119,175	2,236,461
売掛金	1,278,659	1,259,891
リース投資資産	240,940	251,935
商品及び製品	439,590	488,893
仕掛品	4,496	2,726
原材料及び貯蔵品	63,865	64,485
繰延税金資産	215,455	173,537
その他	167,482	172,387
貸倒引当金	△59,504	△50,074
流動資産合計	4,470,160	4,600,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	660,312	704,815
機械装置及び運搬具(純額)	206,203	249,195
工具、器具及び備品(純額)	474,424	454,528
土地	744,249	742,555
建設仮勘定	108,780	326
有形固定資産合計	2,193,970	2,151,420
無形固定資産		
のれん	851,166	731,210
その他	162,870	182,025
無形固定資産合計	1,014,036	913,236
投資その他の資産		
投資有価証券	205,117	198,313
レンタル資産	203,721	196,378
繰延税金資産	213,744	221,174
その他	185,331	185,406
投資損失引当金	△24,467	△24,467
投資その他の資産合計	783,448	776,806
固定資産合計	3,991,455	3,841,464
資産合計	8,461,615	8,441,707

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	353,122	346,088
短期借入金	212,362	310,547
未払法人税等	69,299	52,137
未払費用	266,769	256,002
賞与引当金	99,847	55,388
その他	412,500	523,817
流動負債合計	1,413,901	1,543,982
固定負債		
繰延税金負債	38,194	37,063
資産除去債務	29,378	29,523
その他	18,226	18,091
固定負債合計	85,800	84,677
負債合計	1,499,701	1,628,660
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,119,484	1,119,484
利益剰余金	5,594,455	5,526,239
自己株式	△7,937	△7,937
株主資本合計	7,757,136	7,688,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,776	2,768
為替換算調整勘定	△797,999	△878,642
その他の包括利益累計額合計	△795,223	△875,874
純資産合計	6,961,913	6,813,046
負債純資産合計	8,461,615	8,441,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,624,656	3,568,689
売上原価	1,481,877	1,500,584
売上総利益	2,142,778	2,068,105
販売費及び一般管理費	1,903,163	1,830,637
営業利益	239,614	237,468
営業外収益		
受取利息	16	298
受取配当金	290	256
仕入割引	5,028	4,790
持分法による投資利益	22,252	2,079
その他	2,206	4,441
営業外収益合計	29,794	11,866
営業外費用		
支払利息	883	554
為替差損	858	2,145
その他	0	—
営業外費用合計	1,741	2,699
経常利益	267,667	246,635
特別利益		
固定資産売却益	1,196	343
賞与引当金戻入額	2,935	—
特別利益合計	4,131	343
特別損失		
固定資産売却損	330	—
固定資産除却損	14	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,984	—
特別損失合計	9,328	—
税金等調整前四半期純利益	262,470	246,978
法人税、住民税及び事業税	90,541	90,495
法人税等調整額	25,275	23,398
法人税等合計	115,817	113,894
少数株主損益調整前四半期純利益	146,653	133,083
四半期純利益	146,653	133,083



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	146,653	133,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△559	△7
為替換算調整勘定	△143,866	△76,530
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,737	△4,112
その他の包括利益合計	△149,164	△80,650
四半期包括利益	△2,511	52,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,511	52,433
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,037,084	1,587,572	3,624,656	—	3,624,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53,634	—	53,634	△53,634	—
計	2,090,718	1,587,572	3,678,290	△53,634	3,624,656
セグメント利益	268,104	25,143	293,248	△53,634	239,614

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,033,444	1,535,245	3,568,689	—	3,568,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,612	—	48,612	△48,612	—
計	2,082,056	1,535,245	3,617,301	△48,612	3,568,689
セグメント利益	204,722	81,358	286,080	△48,612	237,468

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。